

必要な情報を収集、整理、分析表現する力の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト 兵庫県立姫路商業高等学校 布目 孝太郎

| | |
|---|---|
| <p>本時の目標</p> <p>・グループで情報を収集、整理、分析し、意見交換を行いながら、解決すべき課題についてまとめる。 ・まとめたワークシートについて各グループで発表をしあうことで新たな考えや意味を見出すことができる。</p> | <p>校種・学年</p> <p>高校・1年</p> |
| | <p>教科・領域</p> <p>総合的な探究の時間</p> |
| | <p>アプリ・ソフト</p> <p>・Google Jamboard</p> |
| | <p>備考</p> |

○本時の展開

| ○学習活動（◆指導上の留意点） | |
|-----------------|--|
| 導入 | <p>○各グループ内で解決すべき課題について話し合う。</p> <p>◆一人ずつ意見を出し合い、グループとして解決すべき課題について決定する。</p> |
| 展開 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">発表用資料を完成させる。</div> <p>○ワークシートにまとめていく。</p> <p>◆端末を利用し、各グループごとに準備されたJamboard 上のワークシートに話し合いながら意見をまとめていく。</p> |
| まとめ | <p>○発表の役割分担する。</p> <p>◆ワークシートに意見をまとめつつ、誰がどのように発表するのか分担を決める。</p> |

育成できる情報活用能力

◎他者の意見を聞きつつ、自分の意見を述べる際にも活かせるよう質問等も交えて話し合うことで他者の考えを確認できるようにする。

育成できる情報活用能力

◎グループとして解決すべき課題について意見を出しながらJamboard上にまとめていく。様々な意見が出ることで物事を多角的に捉えることができる。

育成できる情報活用能力

◎どうすれば聞き手に伝わるのかを考え、不足している情報を調べるなどし理解を深める。

| 生徒の感想 |
|---|
| <p>・メディアの品質の更なる向上という課題についてよくまとめられていた。</p> <p>・どのグループもよくまとめられていた。また発表についても聞き取りやすく分かりやすい内容であった。</p> |

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・正解のない問いに対して、自分なりの考えをまとめ、他者の意見を聞きグループとして解決すべき課題を話し合いで決めるなどコミュニケーション能力を育成できる。
- ・グループで解決方法を考えることで多角的な考え方ができるようになる。

Google スライドを用いた課題研究発表と Google form を用いた相互評価

HYOGO スクールエバンジェリスト 兵庫県立明石北高等学校 高橋 厚之

| | | |
|---|---------|------------------------------|
| 本時の目標 | 校種・学年 | 高等学校・1年 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・Google スライドを用いて、個人で行った課題研究の内容を他人にわかりやすいように工夫して発表する。 ・他者の発表に対して、批判的な視点で評価することができる。 | 教科・領域 | 総合的な探究の時間 ・課題研究発表 |
| | アプリ・ソフト | ・Google form ・Google スライド |
| | 備考 | ・プロジェクタ |

○本時の展開

| | ○学習活動（◆指導上の留意点） |
|-----|--|
| 導入 | <p>○本時の発表方法と評価方法について確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">発表内容を工夫し、自身の研究結果をわかりやすく伝える</div> <p>◆Classroom に事前に評価用アンケートを投稿しておく。</p> <p>◆プロジェクタへの接続方法について確認する。</p> |
| 展開 | <p>○1人3分ずつ、グループ内で課題研究の結果について発表する。</p> <p>○発表後、発表内容についてアンケートに回答し、評価する。</p> <p>◆アンケートの回答時間を予め設定しておく。</p> <p>◆充電切れになった生徒のために予備の端末を用意しておく。</p> <p>◆「批判」をすることは「非難」することではないことをしっかりと伝えておく。</p> |
| まとめ | <p>○次回は、相互評価および教員評価によって選ばれた8名による発表会を行うことを予告する。</p> <p>◆相互評価および教員の評価を合わせて代表を決定することを確認しておく。</p> |

育成できる情報活用能力

- ◎情報を整理整頓して、内容の構造を見た目に反映させることができる
- ◎発表する内容を精査し、スライドを発表の視覚的な補助資料として活用することができる
- ◎スライドにこだわらず、臨機応変に自身の発表内容を他者に伝えられる工夫をすることができる

育成できる情報活用能力

- ◎他者の発表を聞くことにより、様々な表現方法を学ぶことができる。
- ◎評価項目を意識しながら発表し、聞くことで、多角的な視点を持つことができる。



生徒の感想

- ・相手にわかりやすく伝えるためには、スライドの文章が長すぎず短すぎずでなければいけないとわかった。
- ・思ったよりも発表内容が多く、時間内に収まらなかった。もっと話す内容を工夫しないとイケないと思った。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・スライドに発表内容をまとめる過程で、情報の整理整頓をし、伝えるべき内容を精査することができる。
- ・スライドを用いて発表することで、表現力を高め、他者に自身の考えを的確に伝える能力が育成できる。